

# 補助具の開発+工程の工夫

## 〔用紙の三つ折〕 ①作業効率と製品の品質を高める補助具の活用 ②現場実習先で取り組んだ内容

### 授業改善の視点



【Eさん】

◆ 用紙を三つ折りにするには、どこを目印にしたらいいのかわからないから難しいな…。何度も折り返すからしわしわになってしまうし、作業に集中できない…。

◆ 思うようにできないから、一枚仕上げるのに時間がかかってしまい、集中して取り組めていないみたい。どうしたらいいのかな。

【担任のF先生】



### 専門家からのアドバイス

★ 作業学習では、「自分でできた」という達成感が大事です。そのためには、生徒が「やりにくい」と感じていることを頑張りさせるのではなく、**一人一人に合わせた補助具を開発**してはどうでしょうか。



【専門家】

#### 「一人でできる」ようにするための更なる工夫

- ★ 作業台の上は、材料と完成品を入れるかご等を利用して整理し、作業工程を自分で確認できるようにしましょう。
- ★ 良品と不良品を見分けられるよう、見本を提示しましょう。
- ★ 作業テーブルは、作業中の姿勢が崩れないように、一人一人の高さに合わせるようにしましょう。

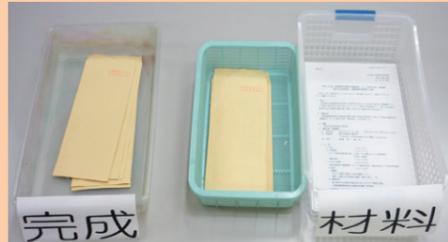
### 補助具の開発と工程の視覚化

- ・ 補助具の活用の方法を生徒と確認しました。
- ・ 作業の材料や完成品のかごを順番に並べ、作業の手順を視覚化しました。
- ・ 一人一人の姿勢に合わせてられるように、テーブルは高さの調節できるものにしました。



補助具(みつおいくん)

正確な三つ折や封入が簡単にできます。



工程の視覚化

作業台の上を整理し、作業がスムーズに行えるようにしました。



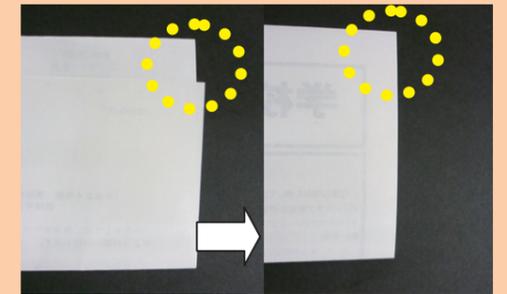
作業台の見直し

安定した姿勢で作業ができるよう、高さの調整が可能な机に変更しました。

### 生徒が「一人でできる」ようになった姿



作業効率の向上



品質の向上

- ・ 折り目を気にして何度も折り直すことが減ったため、作業能率が向上しました。(改善前は1時間に5枚だったものが、改善後は30枚できるようになりました。)
- ・ 不良品の数が圧倒的に減りました。

★ 生徒が「難しい」と感じている作業工程を把握し、補助具や作業環境を工夫することで、作業がしやすくなりました。一人で、上手にできることが、作業意欲や集中力を高めることにつながりました。



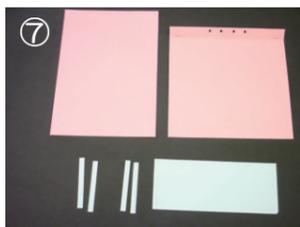
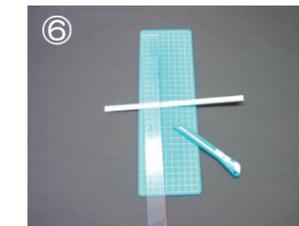
# 「みつおりくん」の作り方

用紙の三つ折や封入が、誰でも簡単にできます。

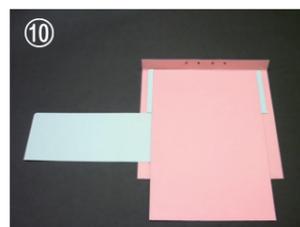
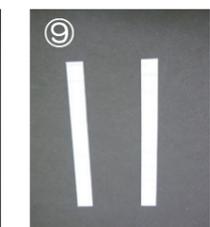
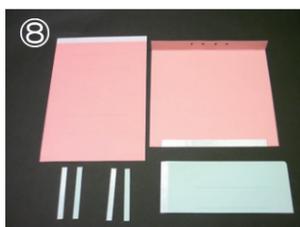
## ◆ 作成手順



1 準備 (写真①・②)  
 カッター、下敷、定規、両面テープを準備する。  
 紙ファイルの押さえ板・とじ足を外す。(写真①)  
 紙ファイルを中心から切る。(写真②)



2 切る (写真③～⑦)  
 I : ヨコ型をA4サイズに合わせて切る。(写真③)  
 II : タテ型の両端を 2.5cm 程度切る。(写真④)  
 III : 中敷分 10cm 程度切る。(写真⑤)  
 IV : 用紙のガイド 1cm×10cm を4枚切る。(写真⑥)



3 貼り合わせる (写真⑧～⑩)  
 I : 両面テープを貼る。(写真⑧)  
 II : ガイドを貼り合わせる。(写真⑨)  
 III : 位置確認をして①両ガイド②中敷③タテ型の順番で貼っていく (写真⑩)

※作成手順の一例です。実際に活動する生徒の実態に応じて変更してください。

## ◆ 材料

ヨコ型フラットファイル (2冊) タテ型フラットファイル (1冊)

必要に応じて【滑り止めマット 薄い合板 (台座用)】

## ◆ 使用方法



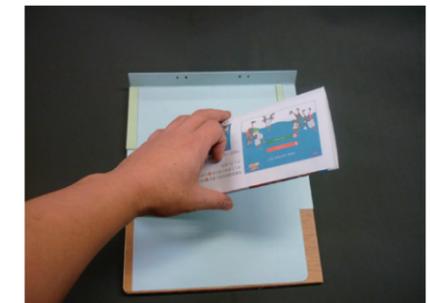
①用紙のセッティング



④上側を折り返す



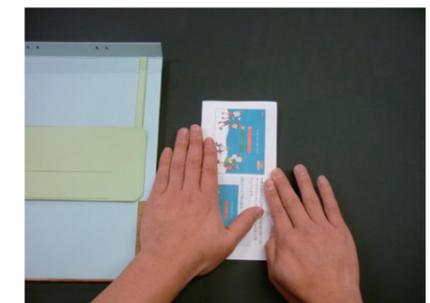
②中敷を折り返す



⑤中敷から抜き取る



③下側を折り返す



⑥折り目をつける

※ 使用手順の一例です。実際に活動する生徒の実態に応じて変更してください。  
 ※ 2枚重ねて折り、ガイドに封筒をかぶせることで2枚同時の封入作業もできます。

## ◆ 作成ポイント

1 必要な箇所は2~3枚を重ねて厚くして、操作しやすいようにする。  
 ・中敷は2枚重ねて丈夫に作るが、紙の折り目をつける先端部分(赤線部分)は1枚にする。



・「みつおりくん」の台紙は、A4用紙をセットした時に、テーブルから浮き上がるように、台紙手前部分は、裏側に3枚重ねて貼り、厚みを出す。



2 台紙の裏には、ノンスリップシートやゴムを貼り付け、補助具が滑らないようにしてより操作しやすいようにする。薄い合板などを貼り付けるのもよい。